



懇親会 × 交流会



第12回 京都流 議定書

報告書 2019

8.6 TUE - 7 WED

ハイアットリージェンシー 京都

8.6 Social Innovators DAY

TRAFFIC DAY



主催 | 京都流議定書イベント実行委員会
共催 | MIRA TUKU RELEASE: 京都市
協賛 | 株式会社ウエダ本社 KYOTO STYLE
後援 | 京都府、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会、公益財団法人京都産業 21
お問い合わせ | 〒600-8103 京都市下京区五条堺町角塩釜町363 | Tel.075-341-4111 | Fax.075-341-5738

京都流議定書 公式ウェブサイト
http://kyotostyle.jp/katsudo/kyotoryu/ @kyotostyle.jp kyotoryugiteisho

SDGs × イノベーション × いい会社 × 働き方改革の本質を探る二日間

本物のSDGs、ESG投資を考える

- 新井和宏氏
- 田口一成氏
- 岡村充泰氏
- [コーディネーター]
- 西村勇哉氏

コーディネーターNPO 法人ミラツク 西村勇哉さんのもと、株式会社 eumo/元鎌倉投信 新井和宏さんと株式会社ボーダレス・ジャパン 田口一成さん、岡村充泰委員長にお話を聞きさせていただきました。自然の摂理に乗っ取って、会社の存在意義を考えていけば、後付けでなく自ずと解決できること、一人ひとりが取り組めることばかり。このプログラムでは、共感、お互いさま、助け合いというキーワードが多く出たように思います。



14:15-15:45

企業はSDGs、ESG投資にどう向き合えばいいのか？

- 岸上有沙氏
- 西村勇哉氏
- 金田晃一氏
- [コーディネーター]
- 新井和宏氏

2つ目のプログラムは、新井さんコーディネートのもと、岸上有沙さん、西村勇哉さん、金田晃一さんにお話をいただきました。結果的に企業・社会の持続可能性につながっているというのが本質的な経営。SDGsやESGに振り回されずに本質に向かっていくには、自分のできる範囲で自分ごととして捉える、みんなで一緒にやってみる。立場・環境の違う人とお互いにわかり合い、身近に、感性で感じ合うことで、一歩進んでいけるのではないのでしょうか。



- 櫻本真理氏
- 田口一成氏
- 小出直史氏
- [コーディネーター]
- 西村勇哉氏

1日目最後のプログラムは、西村勇哉さんコーディネートのもと、櫻本真理さん、田口一成さん、小出直史さんにお話をいただきました。社会企業は会社単位でやることの限界がある。組織の規模が大きくなればなるほど想いは薄まっていきます。そのために、循環するような役割分担、エコシステムづくりが大切になってきます。無知の知、自分が万能で無いということを知っておくことが大事で、社会に出たときに自分は何をもって貢献できるかを考えること。上場するための起業ではなく、自分の持った関心に取り組むための起業をする人がうじゃうじゃいる世界、それが一番楽しくて面白い仕事ができそうな気がします。



ご挨拶



2日目は1日だけの経営大学院として、大室悦賀 教授、紺野登 教授、仲隆介 教授、前野隆司 教授、4名にそれぞれの視点からのお話をさせていただいた後、参加者全員でのディスカッションを行っていただきました。ディスカッションには各グループごとにTRAFFICのアンバサダーメンバーが入り、TRAFFICを疑似体験いただきました。

ご挨拶



TRAFFICについて



講演



- # ワークプレイス
- # 環境デザイン
- # 創造性



- # 幸福
- # 働き方
- # 女性活躍



- # 知識経営
- # 構想力
- # デザイン思考



- # ソーシャルイノベーション
- # 理念経営

ディスカッション



TRAFFICに集まる組織や個人には、〈人を活かす経営〉を実現したいという願いがあります。同じ願いをもつメンバーが集まり、1人、1社では叶えにくい願いを叶えるためのOSであるTRAFFICには、ビジネスの核となる人と理念についてはもちろん、推進力であるマーケティングとマネジメントに関する経営課題を解決するためのオフィスウェアがあります。



- https://traffic.jp/
- @traffic.workstation
- traffic.workstation

